

平成 28 年 度

事 業 報 告 書

自 平成 28 年 1 月 1 日

至 平成 28 年 12 月 31 日

公益財団法人 馬事文化財団

目 次

I 根岸競馬記念公苑における事業	1
1 馬の博物館の事業	1
(1) 特別展示等	1
(2) テーマ展	2
(3) 常設展示	3
(4) 馬事博物資料等の調査・研究	3
(5) 馬事博物資料等に関する印刷物の編集及び刊行	3
(6) 馬事博物資料の収集	3
(7) 資料の貸出	4
(8) 資料の管理・保管	4
(9) サクラウィーク等特別イベント	4
(10) 馬に関する講演会等	5
(11) 他館との交流	5
(12) J R A日本中央競馬会主催の研修参加	5
(13) 文化庁主催の研修参加	5
2 馬展示事業	6
(1) 馬の展示	6
(2) ふれあいイベント	6
(3) 春秋特別イベント	7
(4) 厩舎管理等	8
3 馬文化の保存	8
(1) 馬事伝統行事保存事業	8
(2) 在来馬種保存事業	8
4 施設の管理運営及び公苑の整備	8
5 入館者・入苑者	9
II JRA 競馬博物館の事業	9
1 展示及び調査・研究	9
(1) ギャラリー	10
(2) テーマコーナー	10
(3) 特別展示室	11
(4) エントランスホール	11
(5) 移動展示	11
(6) 常設展示機器等	11

(7) 「馬の学び舎ミュージアム・ホール」	11
(8) 競馬博物資料等の調査・研究	12
(9) 競馬博物資料の収集	13
(10) 資料の貸出	13
(11) 資料の管理・保存	14
(12) ワークショップ等普及イベント	14
2 案内業務及び入館者	16
III 競馬振興会館（Gate J.）の事業	16
1 Gate J. 新橋の事業	16
2 Gate J. 梅田の事業	17
3 入館者	18
IV 広報活動	18
1 馬の博物館	18
2 JRA 競馬博物館	19
3 Gate J. 新橋・梅田	19
V JRA 賞馬事文化賞候補作品の情報収集	19
VI 寄附金・募金の受入れ及び使用状況	19
1 受入れ状況	19
2 使用状況	20
VII 庶務	20
1 評議員に関する事項	20
2 役員等に関する事項	20
(1) 役員	20
(2) 参与	20
(3) 職員及び組織図	21
3 評議員会及び理事会	21
(1) 評議員会	21
(2) 理事会	22
別添資料Ⅰ 「馬の学び舎 ミュージアム・ホール」 イベント一覧	23
別添資料Ⅱ 寄附金・募金の受入れ状況	25

平成 28 年度 事 業 報 告

平成 28 年度においては、当財団定款第 4 条の目的を達成するため、事業計画に基づき根岸競馬記念公苑・馬の博物館をはじめとする財団各施設等において様々な事業を実施しました。特に、同年度は馬事文化財団創立 40 周年及び根岸競馬場開設 150 周年の記念の年にあたるため、年間を通じて充実した展示や各種イベントを実施して参りました。

I 根岸競馬記念公苑における事業

1 馬の博物館の事業

(1) 特別展示等

財団創立 40 周年記念として、企画展『馬鑑(うまかがみ) 山口晃展』を開催しました。山口晃は、日本を代表する現代美術家の一人であり、大和絵などの古典的な絵画手法を取り入れた油彩画で国内外から高い評価を得ています。

本展では、馬が描かれた山口晃の作品に加えて、その題材となっている古典の合戦図屏風、厩図屏風、武者図のほか、刀剣、鎧・兜、オートバイなどを展示し、山口晃の精緻でウィットに富んだ作品とのコラボレーションを実施しました。

また、4 月 24 日には山口晃のトークショーを行い、展示作品や制作活動についてお話いただきました。5 月 27 日には秋篠宮文仁親王殿下、眞子内親王殿下がご来館されました。会期中の入館者数は 16,613 名(対前年比 189%)となりました。

春季特別展は『根岸競馬場開設 150 周年記念 ハイカラケイバを初めてそうろう候』を開催しました。本展では、わが国初の本格的競馬施設“根岸競馬場”の建設から、戦後の連合軍占領を経て、2009 年(平成 21)に根岸森林公園(旧横濱競馬場及び一等馬見所)が国の「近代化産業遺産」に指定された歴史・沿革をたどりしました。

また、活躍した人馬をはじめ、競馬場ゆかりの文豪や馬場内のゴルフ場、さらに明治天皇の行幸史・天皇賞のルーツとなった御下賜品競走の概要、根岸競馬場一等馬見所(スタンド)の設計者 J. H. モーガンを特集するなど、多角的な視点で根岸競馬を紹介しました。関連イベントとして米海軍横須賀基地・横浜市の協力のもと、旧根岸競馬場一等馬見所(スタンド)見学ツアーを、5 月 7 日と 6 月 12 日に実施しました。会期中の入館者は、3,531 名(対前年比 138%)となりました。

秋季特別展は、『信長の馬・秀吉の馬』を開催しました。織田信長は武芸として乗馬を最も好み、家臣や各地の武士が馬を献上しました。また、京都では率先して馬市の保護などを行っています。豊臣秀吉は、自ら馬具製

作を指示したり、家臣から贈られた馬具を喜んだことが知られています。今回は、この二人の馬関係資料 71 点を展示しました。

展覧会は内容を 4 章に分け、「Ⅰ 戦国大合戦」では馬の防具や騎乗した武士が着装する甲冑類、「Ⅱ 馬の献上と競馬・馬揃」では信長への馬の贈呈や競馬見物に関する資料、「Ⅲ 天下統一にかかわる馬たち」では秀吉への馬具献上や武将同士による馬の贈答などに関する資料、「Ⅳ 馬術と馬に携わる人々」では、当時の馬術家が所有していた馬術書・馬医書を展示しました。

10 月 29 日には、日本甲冑武具研究保存会の協力により、シンポジウム「中近世移行期の街道と馬」を実施し、信長・秀吉・甲冑の 3 名の専門家による研究発表と討論を行いました。また、11 月 19 日には実物の甲冑の着装を体験する「本物の甲冑を着てみよう！」を開催したほか、「戦国武士がやってくる！」と題して、埼玉県行田市の忍城おもてなし甲冑隊による演技を行い、戦国時代の雰囲気を楽しんでいただきました。

会期中の入館者は、7,060 名（対前年比 105%）となりました。

展示期間	展示タイトル	展示場所
3.26～5.29	企画展 馬鑑 山口晃展	第 2・3 展示室
6.4～8.7	春季特別展「根岸競馬場開設 150 周年記念 ハイカラケイバを初めて <small>そうろう</small> 候」	第 2・3 展示室
10.5～12.4	秋季特別展「信長の馬・秀吉の馬」	第 2・3 展示室

(2) テーマ展

『徳川吉宗の馬術復興』は徳川吉宗の将軍就任 300 周年を記念して行いました。吉宗在任時における丹波篠山藩家中の武装や和歌山藩主と家老の旗を描いた絵画をはじめ、吉宗が調査させた相馬地方の馬産状況、中国の馬具、オランダの馬術書和訳や、馬にかかわる武芸と鹿狩等の絵巻・屏風・地図類を展示しました。

『地方競馬展』は県・市町村等が主催する地方競馬に焦点を当て、各競馬場の位置と歴史の流れ、それぞれの特徴や主要レース等を写真と関連資料で紹介しました。

『馬に関わるものづくり～鞍・鞭・乗馬靴～』は、競馬で使用されている鞍・鞭・乗馬靴に着目し、各々の役割と製作工程の解説とともに職人の高度な技術を紹介しました。

『“馬関連”キャラクター&マスコット紹介展〔北海道・東北編〕』は前年に実施した西日本編と関東編に引き続き、北海道・東北地区の中央・地方競馬場並びに地方自治体・企業が馬を題材にして制作した各キャラクターを、プロフィールパネルや多数のグッズで紹介しました。

『物語の中の馬』では、当館所蔵資料の中から、馬が登場する物語を描いた美術作品約 50 点を紹介しました。

『競馬レトロポスター展』は昭和 20 年代に制作された「国営競馬」の開催告知ポスター 20 点を展示するとともに、当時の活躍馬などを紹介しました。

[第2展示室]

	展示期間	展示タイトル
1	H27. 12. 12～H28. 1. 31	牧と調教
2	2. 4～3. 21	徳川吉宗の馬術復興
3	8. 13～10. 10	馬に関わるものづくり ～鞍・鞭・乗馬靴～
4	12. 10～H29. 2. 19	物語の中の馬

[第3展示室]

	展示期間	展示タイトル
1	H27. 12. 12～H28. 1. 31	馬の伝統行事 西日本編
2	2. 4～3. 21	地方競馬展
3	8. 13～10. 10	“馬関連”キャラクター&マスコット紹介展 〔北海道・東北編〕
4	12. 10～H29. 2. 19	競馬レトロポスター展

(3) 常設展示

	展示場所	展示物
1	第1展示室	根岸競馬の歴史・皇室と競馬等
2	第2展示室	曲がり家・明治天皇御料馬車
3	第4展示室	ウマの進化・馬と人との関わり

(4) 馬事博物資料等の調査・研究

平成29年度開催予定の春季特別展開催準備のため、安野光雅美術館（島根県津和野町）及び兵庫県神戸市長田区（JR新長田駅周辺）において調査を行いました。また、福島県須賀川市立博物館において、亜欧堂田善の馬関係作品の調査を行いました。

(5) 馬事博物資料等に関する印刷物の編集及び刊行

	種類	印刷物
1	図録	根岸競馬場開設150周年記念 ハイカラケイバを初めて <small>そうろう</small> 候
2	図録	信長の馬・秀吉の馬
3	図録	馬の博物館所蔵品図録〔日本画・木版画編〕

(6) 馬事博物資料の収集

一般財団法人日本中央競馬会弘済会から助成を受け、馬事博物資料の購入を行いました。

① 購入した資料（1点 20万円以上）

	資料名
1	山口晃 厩圖 2016 1点

② 寄贈を受けた資料

	資料名
1	JRA 栗東トレーニング・センター（迎賓館）資料 1式 （椅子2脚、テーブル1台、説明文1点、衝立2点、図面1点）

2	2015・2016年地方競馬開催告知ポスター（門別・帯広・盛岡・浦和・大井・川崎・金沢・名古屋・高知・佐賀）計28件
3	第38回帝王賞磁器製フリーカップ 1点
4	第61回東京大賞典ネクタイ 1点
5	2016年国際女性騎手招待競走レーシングプログラム 3点
6	2016年国際女性騎手招待競走勝馬投票券 3点
7	2016年凱旋門賞レーシングプログラム 2点
8	優勝賞品（花瓶）「函館競馬抽籤古馬障碍特別競走（昭和14年春季）」1件
9	競馬予想紙「勝馬検討の葉・関西版（一般財団法人 競馬共助会発行）」昭和28～40年 13冊（製本）

(7) 資料の貸出

	貸出資料名	貸出先	貸出期間
1	年中行事絵巻摸本 1巻	MIHO MUSEUM	2.23～5.18
2	栗鼠葡萄朱漆塗鞍 他1件	山梨県立博物館	9.22～12.16
3	東京ジョツケークラブ勝馬投票券 明治41年春季 3点	憲政記念館	11.1～12.13

(8) 資料の管理・保管

- ① 新規の図書・写真・博物資料を資料管理情報システムに入力しました。
- ② 害虫対策として、収蔵庫の燻蒸消毒及び展示室の床面消毒を実施しました（8月21日・22日）。
- ③ 第2展示室エアタイトケース内の環境を維持するため、アートソープ（調湿保存剤）を更新しました。

(9) サクラウィーク等特別イベント

- ① 「サクラウィーク」イベント（3月19日～4月10日）
春休み期間中にファミリー向けの企画として以下の催しを行いました。
 - ・馬の博物館ガイドツアー（3月27日、4月3日）
 - ・ポニー苑内てくてくさんぽ（3月21日、4月10日）
 - ・にんじんタイム&在来馬保護チャリティー（3月19、26日、4月2日）
 - ・ミニ試乗会（3月27日）
- ② 「夏休み」イベント（7月16日～8月31日）
主に夏休み期間中のお子様向け企画として以下の催しを行いました。
 - ・夏休み自由研究相談「馬について学ぼう！」（7月31日、8月3日）
 - ・お絵かきイベント「ポニーセンターの馬をえがいてみよう」
（7月24日、8月28日）
 - ・夏休み工作教室「馬のペーパークラフト」「お絵かき陶器のお馬さん」
（7月30日、8月20日）
 - ・親子で参加！「馬の博物館ガイドツアー」（7月17日、8月21日）
 - ・クイズラリー「ハイカラケイバを学んでそうろう候」（7月16日～8月7日）

- ・馬の博物館×根岸森林公園「夏休みスタンプラリー」
(7月16日～8月28日)

根岸競馬場開設150周年を記念して、同競馬場跡地である根岸森林公園と馬の博物館のコラボイベントを行いました。

- ③ 「シルバーウィーク」イベント (9月17日～9月25日)

秋の大型連休であるシルバーウィークにイベントを行いました。

- ・ミニツアー「根岸競馬場の歴史を辿る」(9月19日)
- ・ポニー苑内てくてくさんぽ(9月19日、25日)
- ・にんじんタイム&在来馬保護チャリティー(9月17日、24日)
- ・ミニ試乗会(9月22日)

- ④ 「ミュージアムコンサート in 馬の博物館」(12月18日)

横浜市等が主催する「クラシック・ヨコハマ2016」の一環として、馬の博物館イベントホールにて、横浜市民広間演奏会の皆様にコンサートを披露していただきました。ご家族連れの皆様に喜んでいただける楽曲を中心に、楽しく盛況に行われました。

(10) 馬に関する講演会等

- ① 講演

市川市東部公民館(講座名「馬…人間との歴史 その魅力」)、國學院大學(講座名「渋谷から日本文化を発信する」)等の依頼により馬事・競馬文化を普及・啓発する講義を依頼先にて実施しました。

公益財団法人いきいき埼玉と浦和競馬組合共催のカリキュラムとして馬の博物館見学が実施された際に、馬事・競馬に関する文化についての講義を実施しました。

また、東京農業大学、日本獣医生命科学大学、明治大学、龍谷大学、武蔵野美術大学及び畜産系専門学校の校外学習の受け入れに積極的に応じ、各々の専門分野に合わせた説明、案内に努めました。また、韓国の公立龍雲高校に、日本の馬産業に関する研修を実施しました。

- ② 学芸員課程学生の博物館実習(8月6日～8月12日)

中央大学・駒澤大学・学習院大学・多摩美術大学・日本女子大学・日本大学・聖心女子大学より7名の実習生を受け入れました。

(11) 他館との交流

博物館事業の充実を図るため、日本博物館協会、神奈川県博物館協会等が開催する会議、研究会、専門部会に参加しました。

また、各地の博物館・美術館、教育機関との交流を通じて資料の相互活用及び情報交換を行いました。

- (12) JRA日本中央競馬会主催の研修参加(9月24日・10月6日)

関係団体プロパー職員研修に参加しました。

- (13) 文化庁主催の研修参加(9月7日～9日)

ミュージアムエデュケーター研修に参加しました。

2 馬展示事業

(1) 馬の展示

馬の博物館事業の一環として行う実馬展示については、多品種の馬を繋養し、馬場・芝生広場での放牧や騎乗等のほか、日常の飼養管理の様子を紹介し、馬の行動を観察できる環境を維持しました。また、展示馬については、日本在来馬種である与那国馬サンゴ号を購入したほか、高齢によりハフリンガー種のマークス号(24歳)から同種のスカニア号(22歳)に、故障がちであったセルフランセ種ヌアージュ・デ・ポリー号からサラブレッド種龍輝号への入れ替えを実施し、現在11頭の展示馬を繋養しています。

展示馬一覧表

	馬名	品種	生年	年齢	性別	産地	体高	毛色	入退厩日
1	ペルニー	中半血	1998年 (推定)	18	セン	不詳	102cm	茶斑	2008. 4. 25 函館競馬場より受贈
2	グッバイ レディー	ウエストフ アーレン	1993年 4月	23	牝	標茶町	161cm	芦毛	2011. 9. 8 馬事公苑より受贈
3	ミカン	野間馬	2010年 5月	6	セン	今治市	100cm	栗毛	2013. 2. 15 野間馬保存会より借受
4	ゆき	北海道和種	2011年 4月	5	牝	函館市	129cm	河原毛	2013. 11. 17 購買
5	ホワイト ミニ	ミニチュア ホース	1998年 4月	18	セン	音更町	85cm	駁栗	2013. 12. 11 競馬学校より受贈
6	マイネル キッツ	サラブレッド	2003年 3月	13	セン	新冠町	164cm	栗毛	2013. 12. 11 サラブレッドクラブ・ ラフィアンより受贈
7	シザーZ	Zangersheide	2005年 6月	11	セン	オランダ	168cm	鹿毛	2014. 9. 11 競馬学校より受贈
8	マイネル ネオス	サラブレッド	2003年 3月	13	セン	新冠町	160cm	鹿毛	2014. 11. 6 サラブレッドクラブ・ ラフィアンより受贈
9	サンゴ	与那国馬	2014年 3月	2	セン	与那国島	117cm	鹿毛	2016. 3. 8 購買
10	スカニア	ハフリンガー	1994年 5月	22	牝	標茶町	145cm	尾花栗毛	2016. 5. 19 美浦 TC より受贈
11	龍輝	サラブレッド	1997年 3月	19	セン	早来町	166cm	鹿毛	2016. 11. 2 立命館大学より受贈

(2) ふれあいイベント

展示馬を活用し、馬についての関心や、馬に関する知識を高めるとともに、愛馬心と動物愛護の精神を涵養することを目的に、以下のイベント等を実施しました。

① 馬の博物館の入館者を対象とした体験乗馬等

毎月第1日曜日と第3日曜日(1月～3月は第3日曜日のみ実施)に、当日の馬の博物館入館者を対象とした乗馬デー(体験乗馬及び馬車の試乗会)を開催しました。また、3・4月の「サクラウィーク」並びに9月の「シルバーウィーク」において、ミニ試乗会(体験乗馬)や「ポニー苑内てくてくさんぽ」等を実施し、馬事イベントを充実させるとともに、その他の祝日(4日間)においても同様のイベントを実施しました。

② にんじんタイム

毎週土曜日と祝日に、お客様に馬と親しんでいただくため、にんじんを与え、馬に触れることのできる機会を提供しました。(祝日対応7日、乗馬デー・ミニ試乗会天候不良に伴う代替3日)

③ 体験学習講座(9月11日・25日)

秋季に、小学校高学年児童を対象に、馬に関する基礎知識の学習や馬房の清掃、体験乗馬、馬の手入れ等を行う「一日愛馬教室」を開催しました。

④ その他の協力

来苑した幼稚園・小学校等からの要請に応じて、馬について説明したほか、にんじんを与え、馬に触れることのできる体験の場を提供しました。

また、学校教育機関と連携し、生徒の職業体験学習を受け入れるとともに展示馬を活用した出張訪問を行いました。

(職業体験学習)	川崎市立平中学校(2年)2名	1月20日
	横浜市立根岸中学校(2年)3名	2月3日
(実習生)	千葉愛犬動物フラワー学園1名	8月4日~7日
(出張訪問)	鎌倉市西鎌倉小学校	11月9日
	横浜市立根岸小学校	11月30日

その他、在来馬等の展示馬を活用し、外部団体等のイベントへの協力を行いました。

・米海軍池子フレンドシップデーへの協力

5月14日(主催:米海軍横須賀基地池子支所)

・馬車道まつりにおける馬と親しむイベントへの協力

11月3日(主催:馬車道商店街協同組合)

・鎌倉市材木座・芝原自治会子供会への協力

11月23日(主催:鎌倉市材木座・芝原自治会)

(3) 春秋特別イベント

毎年実施している春秋特別イベントを“根岸競馬場開設150周年記念”として実施しました。

春季は、ゴールデンウィーク期間中の5月5日“こどもの日”に『馬とあそぼうこどもの日スペシャル』として開催し、体験乗馬や馬車の試乗会の他、大日本弓馬会による伝統馬事芸能「流鏑馬・笠懸」の披露、在来馬とのふれあいイベント及び保護チャリティー募金、横山剣ミニライブ、本牧市民吹奏楽団のミニコンサート、市電保存館及び木曾町役場とのコラボイベント等を行いました。また、3月に入厩した与那国馬の名前を公募し、当日の命名式において「サンゴ」という名に決定したことを発表しました。

秋季は、10月30日に『馬とのつどい2016スペシャル』として開催し、JRA東京競馬場の協力による「ロングレインホースダンス」の披露に加え、イギリスサイドサドル協会の協力による「サイドサドル」の披露、ハロウ

ーン特別企画のスタンプラリー・ゆるキャラ「みきゃん」と「ターフィー」との写真撮影会・仮装してきた来苑者へのお菓子プレゼント、「ごっちくん」のマジックショー、クラシック・ヨコハマによるミニコンサート、春季同様のコラボイベントなど充実した内容で実施しました。

実施日	催物（集客）	内容
5.5	馬とあそぼう こどもの日 スペシャル (来苑者 16,700 人・対前年比 192.0%)	大日本弓馬会による流鏝馬・笠懸、横山剣ミニライブ、市電保存館による鉄道模型展示、本牧市民吹奏楽団ミニコンサート、蹄鉄造りの実演（協力：JRA 競馬学校）、馬のゆるキャラ紹介・記念撮影会（協力：木曾町役場）、体験乗馬・馬車の試乗会、マイネルキッツ号・マイネルネオス号の蹄鉄プレゼント抽選会・試乗会、在来馬保護チャリティーイベント、与那国馬命名式 他
10.30	馬とのつどい 2016 スペシャル (来苑者 6,700 人・対前年比 117.5%)	ロングレーンホースダンス(協力：JRA 東京競馬場)、蹄鉄造りの実演（協力：JRA 馬事公苑）、サイドサドル（協力：イギリスサイドサドル協会）、「ごっちくん」のマジックショー、JR 東日本「根岸駅」による駅員体験イベント、馬のゆるキャラ紹介・記念撮影会（協力：木曾町役場）、クラシック・ヨコハマミニコンサート、体験乗馬・馬車の試乗会、マイネルキッツ号・マイネルネオス号の蹄鉄プレゼント抽選会・試乗会、在来馬保護チャリティーイベント 他

(4) 厩舎管理等

展示馬の健康管理については体温・行動等に常に留意し、また、伝染病予防接種等の防疫管理、厩舎の定期消毒・害虫駆除等の衛生管理等を行い、お客様への快適な展示環境の提供に努めました。

3 馬文化の保存

(1) 馬事伝統行事保存事業

わが国に古くから伝わる馬に係わる伝統行事の保存及び振興を図るため、馬事伝統行事を行う 43 団体に対して助成金を交付しました。

(2) 在来馬種保存事業

わが国に現存する 8 種類の在来馬種の保存活動を行う団体に対し、公益社団法人日本馬事協会を通じて助成金を交付しました。

また、平成 28 年度においては Gate J. 出張イベントとして、全国の主要競馬場等において「在来馬保護チャリティーイベント」を 14 回実施しました。

4 施設の管理運営及び公苑の整備

草花の植栽や樹木の剪定等を実行的に行い公苑の整備と美化に努めたほか、隣接する根岸森林公園内にある財団の案内看板を補修しました。また、公苑

内の警備や建物の総合管理業務等は各業者に委託し実施しました。

5 入館者・入苑者

馬事文化財団創立 40 周年及び根岸競馬場開設 150 周年記念として、年間を通じて充実した展示や各種イベントを実施した結果、馬の博物館の入館者は 35,943 人（対前年比 134.4%）、根岸競馬記念公苑の入苑者は 348,158 人（対前年比 122.5%）となりました。

区分	馬の博物館						根岸競馬記念公苑		
	開館日数	入館者数					開苑日数	入苑者数 (概数)	1日平均
		大人	小人	団体	合計	1日平均			
1月	25日	715	239	362	1,316	53	25日	18,290	732
2月	22日	1,323	377	302	2,002	91	24日	25,300	1,054
3月	25日	1,842	426	342	2,610	104	29日	27,210	938
4月	27日	3,108	429	865	4,402	163	27日	45,627	1,690
5月	26日	7,844	2,167	905	10,916	420	26日	61,418	2,362
6月	23日	912	250	149	1,311	57	26日	26,866	1,033
7月	27日	1,212	322	263	1,797	67	28日	26,013	929
8月	22日	936	335	94	1,365	62	26日	15,037	578
9月	28日	864	247	123	1,234	44	28日	19,497	696
10月	23日	2,846	1,172	1,059	5,077	221	27日	37,635	1,394
11月	26日	1,462	430	662	2,554	98	26日	25,906	996
12月	16日	917	376	66	1,359	85	22日	19,359	880
28年計	290日	23,981	6,770	5,192	35,943	124	314日	348,158	1,109
27年計	287日	16,659	5,946	4,129	26,734	93	315日	284,145	902
前年比 (%)	101.0	144.0	113.9	125.7	134.4	133.3	99.7	122.5	122.9

*1日最高入館者数 5,244人 5月5日

*1日最高入苑者数（概数） 16,700人 5月5日

*当該年度の年間入苑者数は、過去最高を記録しました。

*教育団体等の見学者数

保育園	幼稚園	児童団体	小学校	中学校	高校 大学	特別支援 学校	一般団体	競馬関係
726	175	400	2,069	46	332	106	1,281	57

II JRA 競馬博物館の事業

1 展示及び調査・研究

年初には、ギャラリー展『障害競走の歴史 ～フジノオーのグランドナショナル挑戦から半世紀～』を開催しました。同展ではわが国と世界の障害競走の歴史を紹介するとともに、英国の伝統ある障害競走グランドナショナルに挑戦したフジノオーを始めとする歴史上の名ジャンパー（障害馬）を関係資料とともに紹介しました。

春季には、特別展『三冠馬 ～世代の頂点に輝いた優駿たち～』をギャラリー及び特別展示室にて開催しました。平成 23 年に三冠を達成したオルフェーヴル号が平成 27 年に顕彰馬に選出されたことを踏まえ、これまでに三冠を達成した 12 頭の名馬（変則三冠馬・牝馬三冠馬を含む）の偉業を称えるとともに関係資料を紹介しました。

夏季には、武蔵野美術大学と共同し『UMARTs 2016』として、同大学の卒業生等が制作した馬をモチーフとした美術作品を展示しました。

秋季には、特別展『馬事文化財団創立 40 周年記念 根岸競馬場開設 150 周年記念 ハイカラケイバを初めて^{そうろう}候』をギャラリー及び特別展示室にて開催しました。同展は、馬の博物館で開催された展示の移動展として開催し、わが国初の本格的洋式競馬施設“根岸競馬場”の歴史・沿革・概要のほか当時活躍した人馬の関係資料を紹介するとともに、東京・京都競馬場で開催される天皇賞競走が根岸競馬場で開催されたミカドズベース競走に由来していることから、御下賜品競走の歴史及び天皇賞最多勝利の武豊騎手と武家の系譜について紹介しました。

(1) ギャラリー

	展示期間	展示タイトル
1	H27. 10. 10～ H28. 1. 24	秋季特別展 創設 60 回 有馬記念展
2	1. 30～4. 17	障害競走の歴史 ～フジノオーのグランドナショナル挑戦から半世紀～
3	4. 23～6. 26	春季特別展 三冠馬 ～世代の頂点に輝いた優駿たち～
4	7. 21～9. 24	UMARTs 2016
5	10. 1～ H29. 1. 22	秋季特別展 馬事文化財団創立 40 周年記念 根岸競馬場開設 150 周年記念 ハイカラケイバを初めて ^{そうろう} 候

(2) テーマコーナー

	展示期間	展示タイトル
1	H27. 9. 30～ H28. 2. 7	馬の意匠展 ～日本の馬文化の広がり～
2	2. 10～3. 27	2015 年度 JRA 賞展
3	3. 30～6. 26	街道と馬展
4	7. 9～9. 25	馬事文化財団創立 40 周年記念 JRA 競馬博物館 所蔵資料展
5	9. 28～10. 30	勝馬投票を支える ～トータリゼータシステム 50 年のあゆみ～
6	11. 2～ H29. 2. 5	馬事文化財団創立 40 周年記念 馬の博物館 所蔵資料展

(3) 特別展示室

	展示期間	展示タイトル
1	H27. 12. 5～ H28. 1. 24	秋季特別展 創設 60 回 有馬記念展
2	4. 23～6. 26	春季特別展 三冠馬 ～世代の頂点に輝いた優駿たち～
3	10. 1～ H29. 1. 22	秋季特別展 馬事文化財団創立 40 周年記念 根岸競馬場開設 150 周年記念 ハイカラケイバを初めて 候 ^{そうろう}

(4) エントランスホール

	展示期間	展示タイトル
1	H27. 12. 12～ H28. 2. 7	第 35 回ジャパンカップ優勝馬展
2	2. 13～4. 17	2016 年度新人騎手紹介展
3	6. 11～7. 24	第 83 回東京優駿（日本ダービー）優勝馬展
4	10. 8～11. 27	2016 年（平成 28）度顕彰馬・顕彰者選出記念展
5	12. 10～H29. 2. 5	第 36 回ジャパンカップ優勝馬展

(5) 移動展示

	展示期間	展示タイトル	展示場所
1	H27. 12. 1～ H28. 1. 24	名手と優駿たち ～騎手と馬の絆～ 伝説の騎手・前田長吉の生涯	阪神競馬場アメニティ ホール
2	H27. 12. 5～ H28. 1. 24	野平祐二と有馬記念展	中山競馬場競馬ギャラ リー
3	H27. 11. 7～ H28. 1. 24	2014 年秋&2015 年春の GI プ レイバック展	東京競馬場フジビュー スタンド 3F
4	1. 30～4. 17	2015 年春&秋の GI プレイバック展	(ウェストホール両脇)

(6) 常設展示機器等

展示パネルや常設展示機器「サラブレッドサイアーライン」、「サラブレッドモンタージュ」に第 83 回日本ダービー優勝馬マカヒキ号の情報を追加更新しました。

常設展示機器「重賞競走ビデオ BOX」には、平成 28 年度分の重賞競走映像を追加しました。

また、「ターフィーシアター」において「日本ダービーレース映像集」及び「ジャパンカップレース映像集」の上映を行いました。

(7) 「馬の学び舎ミュージアム・ホール」

展示・映像・常設展示の各コーナーで構成しており、展示コーナーでは博物資料の展示と解説パネルの設置、映像コーナーでは 150 インチ中型映像装置で平成 27 年度に制作した“馬の祭”と“在来馬”にまつわる映像作品（22 本）及び本年度に制作した“アニメ「馬物語」”（3 本）について上

映プログラムを設定し上映、常設展示コーナーでは等身大の馬像（ばん馬・サラブレッド・日本在来馬）を展示しました。また、特定日においては、ステージを設置してイベントを行うなど多目的に活用しました。

〈馬の学び舎 馬事文化紹介映像上映一覧〉

	作品区分	タイトル		作品区分	タイトル
1	馬の祭	加賀美流騎馬打毬	14	馬の祭	出水神社 武田流流鏝馬
2	〃	チャグチャグ馬コ	15	〃	八代妙見祭
3	〃	相馬野馬追	16	〃	幻の琉球競馬 (前編)
4	〃	流鏝馬まつり	17	〃	幻の琉球競馬 (後編)
5	〃	大國魂神社 くらやみ祭	18	在来馬	どさんこ 北海道和種馬
6	〃	小室浅間神社 流鏝馬祭	19	〃	木曾馬
7	〃	おまんこ祭り	20	〃	野間馬
8	〃	藤森祭 駈馬神事	21	〃	対州馬・御崎馬・ トカラ馬
9	〃	上賀茂神社 賀茂競馬	22	〃	宮古馬・与那国馬
10	〃	熊野速玉大社 例大祭	23	アニメ 馬物語	走れ！ドンタ
11	〃	大浦神社 競馬神事	24	〃	博物館は大騒ぎ
12	〃	御霊会風流 馬入れ神事	25	〃	頑固馬 ミカゲじいさん
13	〃	菊間祭り			

当館の認知度向上・来場促進及び多目的機能の積極的な活用を目的として、東京競馬開催期間を通じて幅広い来館者層に訴求するイベントを実施しました。トークショーとして1回東京では「作家・島田明宏氏と辿る、根岸競馬場 150年の歴史」、2・3回東京ではゲストに池江泰郎元調教師を招いた「三冠トレーナーかく語りき」、4・5回東京では新進気鋭の若手生産者を招いた「ブリーダーズトーク次世代編 強い馬づくりにかける思い」等を実施するとともに、ワークショップ、ガイドツアー及びクイズラリー等を行いました。(別添資料I)

(8) 競馬博物資料等の調査・研究

特別展『三冠馬 ～世代の頂点に輝いた優駿たち～』、『馬事文化財団創立 40 周年記念 根岸競馬場開設 150 周年記念 ハイカラケイバを初めて候』、ギャラリー展『障害競走の歴史 ～フジノオーのグランドナショナル』

ル挑戦から半世紀～』、テーマ展『街道と馬』、『馬事文化財団創立 40 周年記念 馬の博物館 所蔵資料展』の開催のため JRA 図書室、馬の博物館及び横浜市史編纂室において調査を行いました。

(9) 競馬博物資料の収集

① 寄贈を受けた主な資料

	資料名
1	ショウナンパンドラ号ゼッケン（第 35 回ジャパンカップ優勝時着用） 1 点
2	安田伊左衛門直筆書 1 点
3	キズナ号蹄鉄（第 80 回日本ダービー優勝時着用） 4 点
4	ショウナンパンドラ号蹄鉄（第 35 回ジャパンカップ優勝時着用） 4 点
5	エピファネイア号蹄鉄（第 34 回ジャパンカップ優勝馬） 4 点
6	2016 年度ドバイワールドカップ関連資料 12 点
7	競馬記念品（ネクタイピン・テレカ等） 60 点
8	2016 年ケンタッキーダービーレーシングプログラム 1 点
9	マカヒキ号馬主服（第 83 回日本ダービー優勝時着用） 1 点
10	川田将雅騎手使用鞭（第 83 回日本ダービー優勝時使用） 1 点
11	クモノハナ号関係資料（絵画・写真・賞状等） 5 点
12	ワールドオールスタージョッキーズシリーズ関係資料 3 点
13	第 18 回宝塚記念ファン投票用紙 1 点
14	昭和 48 年上半期カレンダー（京都競馬場製作） 1 点
15	ヒーロー列伝番外編ポスター原画 10 点
16	武豊騎手 4000 勝達成時着用馬主服 1 点
17	キタサンブラック号馬主服（第 36 回ジャパンカップ優勝時着用） 1 点
18	武豊騎手使用鞭（第 36 回ジャパンカップ優勝時使用） 1 点
19	2016 年香港国際競走関係資料 6 点

② 購入した資料（1 点 20 万円以上）

	資料名
1	ブレイクニー号（1969 年英ダービー優勝馬）着色写真
2	モーストン号（1973 年英ダービー優勝馬）着色写真
3	スノウナイト号（1974 年英ダービー優勝馬）着色写真
4	エンペリー号（1976 年英ダービー優勝馬）着色写真
5	シャーリーハイツ号（1978 年英ダービー優勝馬）着色写真
6	ヘンビット号（1980 年英ダービー優勝馬）着色写真

(10) 資料の貸出

	貸出資料名	貸出先	貸出期間
1	角田晃一騎手使用鞭（ジャングルポケット号）他 1 点	JRA 東京競馬場 フジビュースタンド	4. 14～7. 14
2	シンボリルドルフ号馬主服複製 他 18 点	JRA 東京競馬場 イーストホール	4. 23～5. 29

3	『名手と優駿たち』展示パネル 72点	浦河馬事資料館・新ひだか町博物館	7.19～9.30
4	ランド号馬主服複製 他 12点	JRA 福島競馬場	6.29～7.27
5	第1回バーデンバーデンカップ優勝賞品	JRA 福島競馬場	6.29～ H29.7.31

(11) 資料の管理・保存

- ① 収蔵資料の燻蒸消毒による保存、整理等を行いました。
- ② 収集した図書・博物資料を資料管理情報システムに入力、管理しました。

(12) ワークショップ等普及イベント

工作を通じた馬に対する関心度の向上、実際の馬と触れ合うことを通じた馬に対する愛情の深化等を目的として、各種イベントを実施しました。

① 「春休み」特別企画

ご家族向けの企画としてのワークショップ等を、下表のとおり実施しました。

	イベント名	内容	実施日
1	オリジナルキーホルダーをつくろう	プラ板に馬やターフィーのイラストを描き製作	3.27
2	お馬さんのこと、もっと知ろう&ペーパークラフトを作ろう	馬の学び舎で子供向けに馬の解説を行った後、競走馬の紙模型を製作	4.2
3	お馬さんとお絵描き&ふれあいイベント	東京競馬場乗馬センター繋養馬ミニチュアポニーのエミとお絵描き&ふれあい	4.3

② 「乗馬センターとの連携イベント」

東京競馬場パークウインズ日において、4月2日にリニューアルオープンした乗馬センターとの連携イベントを下表のとおり実施しました。

	イベント名	内容	実施日
1	「馬を知る」&「体験乗馬」	当館で馬についての解説を行った後、乗馬センターで体験乗馬	4.9 4.16
2	「馬とのふれあいイベント」&「競馬博物館で楽しもう」	体験乗馬参加者（中学生以上）には当館にてクイズラリーを実施し、馬車の運行参加者（小学生以下）には当館にてスタンプラリーを実施	4.10 7.24 7.31 8.7 8.28
3	「馬を知る」&「馬車の運行」	当館で馬についての解説を行った後、東京競馬場内で馬車に乗車	9.4 9.11 9.18 9.25 10.2

③ 「ゴールデンウィーク」・「9月祝日」 特別企画

ご家族向けのワークショップとして下表のイベントを実施しました。

	イベント名	内容	実施日
1	馬の焼き物に絵付けをしよう	素焼きの馬に水性マーカーで絵付けを行うもの	4.29 9.19
2	競走馬のペーパークラフトを作ろう	競走馬の紙模型を製作	5.5
3	オリジナルキーホルダーを作ろう	プラスチック板に馬やターフィーのイラストを描き製作	9.22

④ 「夏休み」 特別企画

ギャラリー展『UMARTs 2016』に関連し、武蔵野美術大学学生主催によるご家族向けのワークショップとして下表のイベントを実施しました。

	イベント名	内容	実施日
1	君とつくる、ウマサマー	学生が企画した各種ワークショップを開催	7.31 8.7

⑤ 団体見学プログラム

馬の学び舎ミュージアム・ホールの中型映像装置を活用した馬に関する講義及び乗馬センター見学等を内容とした「団体見学プログラム」を下表のとおり実施しました。

	団体名	人数	実施プログラム	実施日
1	シニアさいたま市大宮中央校9期校友会	18名	講義「馬を知る」 乗馬センター見学	7.14
2	フレンズ	15名	講義「馬を知る」	8.18
3	国分寺市立東恋ヶ窪学童保育所	89名	講義「馬を知る」 乗馬センター見学	8.24
4	社会福祉法人夢ふうせん	31名	映像「相馬野馬追」	9.16
5	府中市立府中第六小学校	127名	映像「くらやみ祭」	10.20
6	多摩ライフ倶楽部ツアー	40名	講義「馬を知る」	10.27
7	府中市立府中第十小学校	24名	講義「馬を知る」	10.28
8	NHK 学園	19名	講義「馬を知る」	11.10
9	府中市観光ボランティアの会	35名	講義「馬を知る」	11.16
10	(株)カルチャー	27名	講義「馬を知る」	11.17
11	手話勉強会はんず	14名	講義「馬を知る」	12.8

2 案内業務及び入館者

総合案内所を始め館内にインストラクターを配置し、入館者に対する案内業務を行いました。

区分	開館 日数	入館者数	1日平均 入館者数	備考					
1月	18日	4,162	231	開催日	2日	ハークウインズ	8日	平日	8日
2月	16日	6,106	382	開催日	6日	ハークウインズ	2日	平日	8日
3月	22日	4,180	190	開催日	0日	ハークウインズ	9日	平日	13日
4月	22日	8,307	378	開催日	3日	ハークウインズ	6日	平日	13日
5月	21日	18,621	887	開催日	9日	ハークウインズ	0日	平日	12日
6月	20日	8,727	436	開催日	8日	ハークウインズ	0日	平日	12日
7月	17日	3,716	219	開催日	0日	ハークウインズ	8日	平日	9日
8月	21日	3,440	164	開催日	0日	ハークウインズ	8日	平日	13日
9月	22日	2,843	129	開催日	0日	ハークウインズ	8日	平日	14日
10月	22日	11,539	525	開催日	9日	ハークウインズ	2日	平日	11日
11月	21日	9,000	429	開催日	8日	ハークウインズ	0日	平日	13日
12月	16日	4,895	306	開催日	0日	ハークウインズ	9日	平日	7日
28年計	238日	85,536	359	開催日	45日	ハークウインズ	60日	平日	133日
27年計	238日	98,037	412	開催日	46日	ハークウインズ	60日	平日	132日
前年比 (%)	100.0	87.2	87.1						

※6月29日～7月8日 館内整備のため臨時休館

*1日最高入館者数

開催日 4,453人 5月29日(日本ダービー競走当日)
ハークウインズ日 1,155人 12月25日(有馬記念競走当日)
祝・平日(非開催日) 590人 5月5日(こどもの日(ゴールデンウィーク))

*1日平均入館者数/総入館者数

開催日 1,149人/51,685人
ハークウインズ日 324人/19,441人
祝・平日(非開催日) 108人/14,410人

*教育団体等の見学者数

保育園	幼稚園	児童団体	小学校	中学校	高校 大学	特別支援 学校	一般団体	競馬関係
630	166	418	466	—	189	89	2,151	1,214

III 競馬振興会館(Gate J.)の事業

1 Gate J.新橋の事業

① 施設内の壁面等を活用し、パネル展示を行いました。

	展示期間	展示タイトル
1	H27.10.28 ～H28.2.8	「ライバルの記憶」パート2
2	2.10～4.18	「伝説の圧勝劇」パート1
3	2.17～3.21	JRA競馬学校騎手課程卒業生作品展

4	4.20～7.18	「伝説の圧勝劇」パート2
5	7.13～8.15	絵になる馬の景色
6	7.20～10.3	「伝説の圧勝劇」パート3
7	10.5～12.12	「障害競走の歴史（前期）」
8	11.9～12.19	高谷義則作品展「イメージと形（人と馬と）」

- ② Gate J.内スタジオにおける、中央競馬のGI競走のレース検討会等のトークショーやグリーンチャンネルの放送番組「草野仁の Gate J. + (プラス)」の公開収録に加え、イイノホールにて「2016 天皇賞（秋）フェスティバル」を開催しました。また、競馬場における出張イベント（トークショー&在来馬保護チャリティーイベント）・ウインズ及びその他施設での出張イベントを計43回実施しました。
- ③ 大型モニター等を利用し、中央競馬中継や競馬情報番組を放映するとともに、馬の博物館等の施設紹介や展示の案内等を行いました。

2 Gate J. 梅田の事業

- ① 施設内の壁面を活用し、パネル展示を行いました。

	展示期間	展示タイトル
1	H27.11.14 ～H28.2.9	「ライバルの記憶」パート1
2	2.13～4.19	「ライバルの記憶」パート2
3	3.26～4.19	JRA 競馬学校騎手課程卒業生作品展
4	4.23～8.16	「伝説の圧勝劇」パート1
5	8.20～11.1	「伝説の圧勝劇」パート2
6	11.5～H29.1月	「伝説の圧勝劇」パート3

- ② Gate J.内において中央競馬のGI競走等のレース検討会等のトークショーに加え、競馬場における出張イベント（トークショー&在来馬保護チャリティーイベント）及びウインズでの出張イベント等を計10回実施しました。
- ③ 館内モニター等を利用し、中央競馬中継や競馬情報番組等を放映するとともに、馬の博物館等の施設の紹介等を行いました。

3 入館者

区分	Gate J. 新橋			Gate J. 梅田		
	開館日数	入館者数	1日平均	開館日数	入館者数	1日平均
1月	25日	11,164	447	16日	22,016	1,376
2月	24日	10,521	438	17日	21,597	1,270
3月	26日	11,959	460	17日	21,628	1,272
4月	25日	11,741	470	19日	24,268	1,277
5月	24日	12,197	508	19日	31,655	1,666
6月	26日	12,066	464	16日	22,441	1,403
7月	26日	11,303	435	17日	19,446	1,144
8月	25日	10,699	428	18日	18,224	1,012
9月	24日	10,715	446	15日	15,968	1,065
10月	27日	12,642	468	21日	27,292	1,300
11月	23日	11,228	488	18日	23,833	1,324
12月	24日	13,819	576	17日	33,700	1,982
28年計	299日	140,054	468	210日	282,068	1,343
27年計	301日	144,461	480	208日	276,180	1,328
前年比 (%)	99.3	96.9	97.5	101.0	102.1	101.1

*1日最高入館者数

Gate J. 新橋 939人 5月27日（日本ダービーイベント実施日）
 Gate J. 梅田 4,002人 12月26日（有馬記念翌日）

IV 広報活動

1 馬の博物館

- ① 馬の博物館の商業フィルムを、JRA 競馬場のターフビジョン、ITV、グリーンチャンネル等において同館の展示内容の紹介とともに放映しました。また、JRA 各施設、マスコミ、教育・文化関係機関、交通機関や観光案内所等にポスターやパンフレットを配布しました。
- ② 地元メディアに対して適時、情報提供を積極的に行うとともに、テレビ、新聞、雑誌等のメディア取材に対応しました。
- ③ ホームページの最新情報・展示情報を随時更新するとともに施設紹介等の動画配信を行うなど情報提供及び馬文化の普及を図りました。また、馬の博物館公式 Facebook を新設し適時に情報を発信しました。
- ④ 施設等案内リーフレット、オリジナルグッズ及びパンフレット等をイベント等の開催時に効果的に配布することにより、広報活動の一助としました。

2 JRA 競馬博物館

- ① 「JRA 競馬博物館」紹介動画及び展示・イベント案内を JRA 競馬場のターフビジョン、ITV、グリーンチャンネル等にて放映しました。
- ② 月刊誌「優駿」等 JRA 発行印刷物に展示案内を掲出しました。
- ③ 東京競馬場内のインフォメーション及び各入場門において当館案内パンフレット及びイベントパンフレットを常置し、来館促進及びイベント告知を図りました。
- ④ 東京競馬場内外の博物館専用看板を有効に利用し、来場者等への広報活動を展開しました。
- ⑤ テレビ、ラジオ、新聞・雑誌等のメディア取材に対応しました。
- ⑥ ホームページの最新情報・展示情報を随時更新し、告知を図りました。また、JRA 競馬博物館公式 Facebook を新設し適時に情報を発信しました。
- ⑦ 旅行者に展示情報を随時通知し来館誘致に努めました。
- ⑧ オリジナルカレンダーを制作し、クイズラリー・アンケート参加記念品として入館者に配布するとともに、報道関係者・府中市内の各種機関・競馬関係者等に配布しました。
- ⑨ 平成 27 年度に制作した馬事文化紹介映像（22 作品）について、グリーンチャンネル番組「悠久の馬」にて放映しました。

3 Gate J. 新橋・梅田

- ① 施設等案内リーフレット、オリジナルグッズ及びパンフレット等を Gate J. や JRA 競馬場等におけるイベント等の開催時に効果的に配布し、広報活動の一助としました。
- ② ホームページに最新のイベント情報等を随時更新するとともに Gate J. イベント等の動画配信を行うなど情報提供等の充実を図りました。
- ③ 館内大型モニターを活用して、馬の博物館・競馬博物館の商業フィルム及び特別展の開催告知等を放映しました。
- ④ JRA 競馬場のターフビジョンや ITV、グリーンチャンネルにおいて、Gate J. 新橋・梅田の商業フィルムを放送しました。

V JRA 賞馬事文化賞候補作品の情報収集

JRA から業務委託を受けて、JRA 賞馬事文化賞の候補作品の情報収集及び選定補助業務を行いました。

VI 寄附金・募金の受入れ及び使用状況

1 受入れ状況

平成 28 年度においては、総額 1,405,211 円の寄附金を受入れました。
(別添資料Ⅱ)

2 使用状況

平成28年度においては、在来馬保護事業について、407,920円を公益社団法人日本馬事協会に寄附したほか、日本在来馬種である与那国馬の購入代として406,162円を支出しました。この結果、平成28年度末の未使用寄附金残高は4,007,654円となりました。

Ⅶ 庶務

1 評議員に関する事項（平成28年12月31日現在）

氏名	就任日	退任日
井上 謙吾	H25. 1. 4	
小笠原信夫	H25. 1. 4	
岡部 長忠	H25. 1. 4	
澤野由紀子	H25. 1. 4	
山崎 毅紀	H25. 1. 4	
中村 嘉宏	H27. 3. 1	
川崎 泰彦	H28. 4. 4	
宮本 恭一	H26. 9. 4	H28. 3. 31

2 役員等に関する事項（平成28年12月31日現在）

(1) 役員

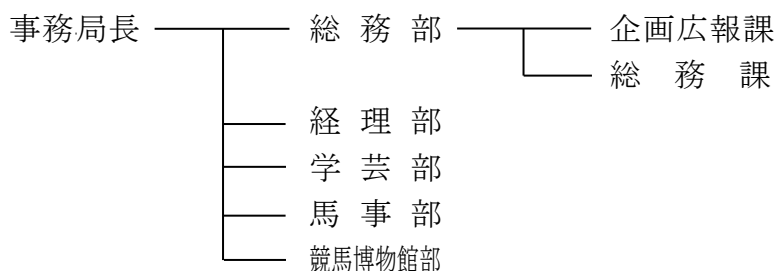
役職名	氏名	就任日	退任日	備考
理事長	畑山 光伸	H24. 3. 1		
専務理事	荒木喜一郎	H26. 9. 16		
理事	末崎 真澄	H19. 10. 1		非常勤
理事	大井 俊雄	H28. 2. 25		非常勤
理事	栗田 晴夫	H28. 2. 25		非常勤
理事	小川 欽司	H15. 10. 1	H28. 2. 25	非常勤
理事	山崎 郁夫	H15. 10. 1	H28. 2. 25	非常勤
監事	奥 寛	H20. 4. 23		非常勤
監事	田中 哲也	H28. 4. 4		非常勤
監事	福島 輝也	H26. 2. 27	H28. 3. 31	非常勤

(2) 参与

氏名	就任日	退任日	備考
富岡 義雄	H26. 3. 1		非常勤

(3) 職員及び組織図

職員 21 名、嘱託 1 名で組織図は以下のとおりです。



3 評議員会及び理事会

(1) 評議員会

回数	開催日	議決事項等	評議員		議決の結果
			現在数	出席数	
1	2.25	①平成 27 年度事業報告書について	7 名	4 名	全員賛成
		②平成 27 年度貸借対照表及び正味財産増減計算書について	7 名	4 名	全員賛成
		③定款の一部改正について	7 名	4 名	全員賛成
		④任期満了に伴う理事及び監事の選任について	7 名	4 名	全員賛成
		⑤役員及び評議員の報酬等の支給に関する規程の一部改正について (報告事項)	7 名	4 名	全員賛成
2	決議の省略 4.4	①平成 28 年度収支予算書(内部管理事項)の予算総則の一部変更について			
		②マイナンバー制度について			
2	決議の省略 4.4	①当財団監事として田中哲也様を選任することについて	7 名	7 名	全員賛成
		②当財団評議員として川崎泰彦様を選任することについて	7 名	7 名	全員賛成
3	決議の省略 6.26	①評議員及び役員の報酬等の支給に関する規程の一部改正について	7 名	7 名	全員賛成
4	12.2	①平成 29 年度事業計画書について	7 名	7 名	全員賛成
		②平成 29 年度収支予算書について	7 名	7 名	全員賛成
		③役員の報酬等の総額の設定について	7 名	7 名	全員賛成

(2) 理事会

回数	開催日	議決事項等	理事		議決の結果	
			現在数	出席数		
1	2.10	①平成 27 年度事業報告書について	5 名	4 名	全員賛成	
		②平成 27 年度貸借対照表及び正味財産増減計算書等について	5 名	4 名	全員賛成	
		③定款の一部改正について	5 名	4 名	全員賛成	
		④任期満了に伴う理事及び監事の選任について	5 名	4 名	全員賛成	
		⑤役員及び評議員の報酬等の支給に関する規程の一部改正について	5 名	4 名	全員賛成	
		⑥第 1 回評議員会の開催について（報告事項）	5 名	4 名	全員賛成	
		①理事長及び専務理事による業務の執行状況について				
		②平成 28 年度収支予算書（内部管理事項）の予算総則の一部変更について				
		③マイナンバー制度について				
2	2.25	①理事長及び専務理事の選定について	5 名	5 名	全員賛成	
		②専務理事の業務の執行について	5 名	5 名	全員賛成	
3	決議の省略 3.27	①当財団監事として田中哲也様を選任するよう各評議員に提案することについて	5 名	5 名	全員賛成	
		②当財団評議員として川崎泰彦様を選任するよう各評議員に提案することについて	5 名	5 名	全員賛成	
4	決議の省略 6.9	①評議員及び役員の報酬等の支給に関する規程の一部改正について	5 名	5 名	全員賛成	
5	11.24	①平成 29 年度事業計画書について	5 名	5 名	全員賛成	
		②平成 29 年度収支予算書について	5 名	5 名	全員賛成	
		③役員の報酬等の総額の設定について	5 名	5 名	全員賛成	
		④第 4 回評議員会の開催について（報告事項）	5 名	5 名	全員賛成	
		①理事長及び専務理事による職務の執行状況について				
		②一般会計予算の科目間流用について				

別添資料 I 「馬の学び舎 ミュージアム・ホール」 イベント一覧

	イベント名	内容	実施日
1	作家・島田明宏氏と辿る、根岸競馬場 150 年の歴史	JRA 賞馬事文化賞作家の視点で根岸競馬場の歴史を紹介	1. 31
2	競馬女子あるあるトーク	JRA が行う「UMAJO」キャンペーンの協力を得て、競馬に関して情報発信している女性タレントによる競馬談義を開催	5. 15 11. 13
3	三冠トレーナーかく語り	三冠馬ディープインパクトを管理した池江泰郎元調教師を招き、三冠レースの思い出を語った	5. 29
4	懐かしき競馬場の足跡	競馬ライターの浅野靖典氏が根岸競馬場を始め過去に競馬の歴史を彩った競馬場の足跡を紹介	6. 5
5	ブリーダーズトーク次世代編「強い馬づくりにかける思い」	前年に開催した「ブリーダーズトーク」の次世代編として、新進気鋭の若手生産者である吉田哲哉氏、岡田紘和氏、服部健太郎氏、梁川正普氏が出演し、強い馬づくりにかける思いや今後の日本における馬産への展望などを披露	10. 9
6	「草野仁の Gate J. + (プラス)」公開収録	グリーンチャンネル制作番組、ゲスト藤岡弘氏 (俳優・武道家)	10. 10
7	競馬初ヒストリアライブトーク ～天皇賞のルーツとは～ & 天皇賞 (秋) レース展望	JRA 賞馬事文化賞作家石田敏徳氏が天皇賞の由来と根岸競馬場の歴史について説明するとともに天皇賞 (秋) の展望を開催 (夕刊フジとのコラボイベント)	10. 30
8	JRA プロフェッショナルトーク	JRA 職員をゲストに招いたトークイベント	2. 6 6. 11
9	ワークショップ&馬像試乗体験	お子様向け工作教室を実施し、完成後は馬像試乗体験	2. 7 5. 28 6. 4 6. 26 10. 23 11. 26
10	キッズイベント お馬さんのこと、もっと知ろう!	中型映像装置を活用し馬に関して写真や絵により子供向けに分かりやすく説明	2. 20 5. 8
11	お馬さんのお絵描き&ふれあいイベント	東京競馬場乗馬センター繋養馬エミのお絵描きとふれあい	5. 14 10. 15

12	博物館ガイドツアー	「馬の学び舎」内展示資料、特別展について財団学芸員が解説	2.14 5.1 5.22 10.29 11.27
13	馬の博物館出張講座	馬の博物館学芸員が当館にて出張講座を開催	6.19 11.20
14	競馬博物館内クイズラリー	競馬博物館内をくまなく回り展示に隠されたヒントを手掛かりに参加するクイズラリーを実施し、正解者には抽選で賞品プレゼント	2.21 4.24 11.6
15	馬の博物館オリジナルグッズプレゼント&クイズラリー	当日開催の在来馬保護チャリティーイベント募金参加者を対象に、来館者に対してグッズプレゼントとクイズラリーを開催	10.15 10.16
16	馬像試乗会	馬の学び舎内の等身大馬像模型への試乗体験	2.13 4.30 5.7 5.21 6.25 10.22 11.12 11.19
17	根岸競馬場開設 150 周年記念オリジナルグッズ詰め合わせプレゼント	周年記念で製作したマウスパッド他グッズ詰め合わせを先着でプレゼント	1.31

別添資料Ⅱ 寄附金・募金の受入れ状況

1 在来馬保護チャリティーイベント

実施日	実施場所	内容〔派遣馬〕	募金額(円)
3.19	根岸競馬記念公苑 馬の博物館	サクラウィークイベント ミカン・ゆき	500
3.26	根岸競馬記念公苑 馬の博物館	サクラウィークイベント ミカン・ゆき	3,667
4.2	根岸競馬記念公苑 馬の博物館	サクラウィークイベント ミカン・ゆき	8,834
4.9～10	阪神 RC 桜花賞施行週	Gate J. Presents ミカン・ゆき	231,611
5.3	根岸競馬記念公苑 馬の博物館	馬とあそぼうこどもの日 SPECIAL ミカン・ゆき	13,910
5.14～15	東京 RC ヴィクトリアマイル施行週	Gate J. Presents ミカン・ゆき	336,523
9.17	根岸競馬記念公苑 馬の博物館	シルバーウィークイベント① ミカン・ゆき	6,293
9.24	根岸競馬記念公苑 馬の博物館	シルバーウィークイベント② ミカン・ゆき	2,600
10.1～2	中山 RC スプリンターズS 施行週	Gate J. Presents ミカン・ゆき	138,471
10.15～16	東京 RC 秋華賞施行週	Gate J. Presents ミカン・ゆき	294,940
11.3	馬車道 馬車道まつり	Gate J.出張 (W 横浜) ミカン・ゆき	46,513
11.19～20	京都 RC マイルチャンピオンシップ施行週	Gate J. Presents ミカン・ゆき	186,145
11.23	根岸競馬記念公苑 馬の博物館	祝日イベント ミカン・ゆき	3,800
12.23	根岸競馬記念公苑 馬の博物館	祝日イベント ミカン・ゆき	3,610
合計			1,277,417

2 在来馬保護チャリティー募金(馬の博物館設置)

1月～12月 合計 87,794円

3 個人による寄附金

(1) 在来馬保護事業

受入日	寄附金額(円)
4.18	10,000
11.5	30,000
合計	40,000